

1. 景観づくりの基本理念・目標

利根川と荒川に挟まれた肥沃で平坦な土地と、古代から連綿と受け継がれる歴史・文化に育まれた、生業、まち並み、風土、精神が息づく本市の景観特性や現況をふまえ、基本理念、目標を次の通り設定します。

1) 景観づくりの基本理念

ともにつくる
愛着と誇りを紡ぐまち 行田

2) 景観づくりの基本目標

① 暮らし・生業の基礎である自然・田園環境を守り、育む

利根川と荒川の運んだ土砂が堆積して形成された平坦な土地にある本市では、大小の河川・水路が幾重にも流れ、景観の基盤・骨格を形成しています。この水の恵みによって育まれてきた、1年を通して彩りの豊かな田園・屋敷林の残る集落や、市民に憩いの場として親しまれる、水辺や水路沿いの遊歩道・ポタリングコースなどを市民の共有財産として守り育てていきます。

② 受け継がれてきた歴史・文化の蓄積をいかし、次世代に継承する

本市は、ランドマークとして親しまれている古墳、北武蔵の「水の管理」と「交通の要衝」として発展した城下町、全国に誇る足袋のまちとして栄えた商業地など、古代から連綿と受け継がれる歴史・文化に育まれた生業、まち並み、風土、精神が息づくまちです。これら長い時を経て形成された伝統や風格、歴史的な資源をいかし、魅力を高めることで次世代に継承する景観づくりを目指します。

③ 地域固有の資源をいかし、身近な暮らしの環境を豊かにする

市民が心地よく住み続けるために、住宅地や集落などの身近な暮らしの環境の質を高めることが大切です。そのため、地域ごとに見られる寺社などの歴史・文化的資源、緑地や公園、水辺、祭礼・行事などの資源をいかし、地域の景観と調和した建築物の誘導、まちかどや庭先などを彩る緑化の推進等を進め、身近な生活環境を豊かにする景観づくりを目指します。

④市民、来訪者に親しまれ、市の顔となるエリアの魅力を高める

本市は、自然環境、歴史・文化に恵まれ、城下の町割りを受け継ぐまちなかと忍城、埼玉古墳群、古代蓮の里など市民、来街者に親しまれるエリアが形成され、市民のみならず市外からも多くの人が訪れ親しまれています。公民の協働により、質の高い建築物や屋外広告物等の誘導、自然環境や歴史・文化的資源の活用、歩く人にとっての魅力づくり等により本市の顔となるエリアとしての魅力を高めていきます。また、エリア間を巡る回遊ネットワークの形成を進めます。

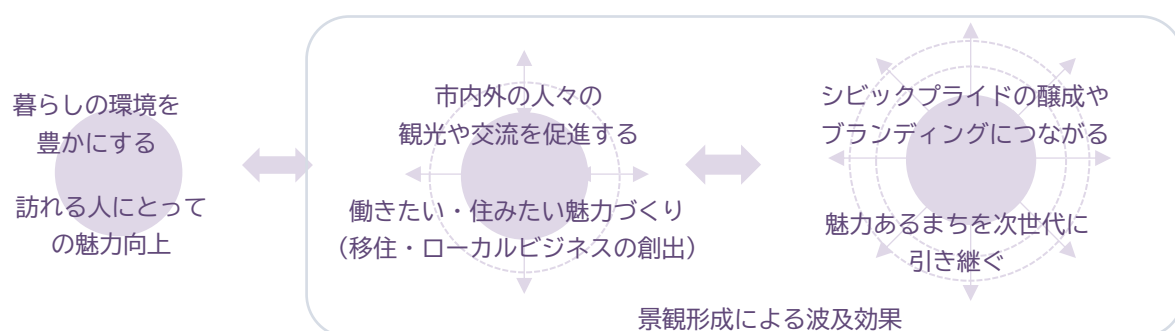
⑤共有、参加、協働により、景観づくりをともに積み重ねる

これまで世代を超えて受け継がれ、これからも大事にしていきたい景観や資源を、市民、事業者、行政が共有し、それぞれの役割に応じて参加と協働を進め、みんなで積み重ねながら、本市の個性や魅力を伸長する景観づくりを進めます。

3) 景観づくりの意義

景観づくりは、景観や資源を守り育む活動であり、暮らしの環境を豊かにするなど、市民の生活に密接に関係するものです。

生き生きとした活動や豊かな暮らしが表出するまちは人を惹きつけ、地区内外の人々の観光や交流を促進し、地域に根付いた生業の振興やローカルビジネスの創出のきっかけになります。またそれらの取組を継続することは、身近な自分たちが暮らす地域への愛着、誇りの醸成、地域のブランディングに繋がり、次世代に魅力あるまちを引き継ぐことにもなります。



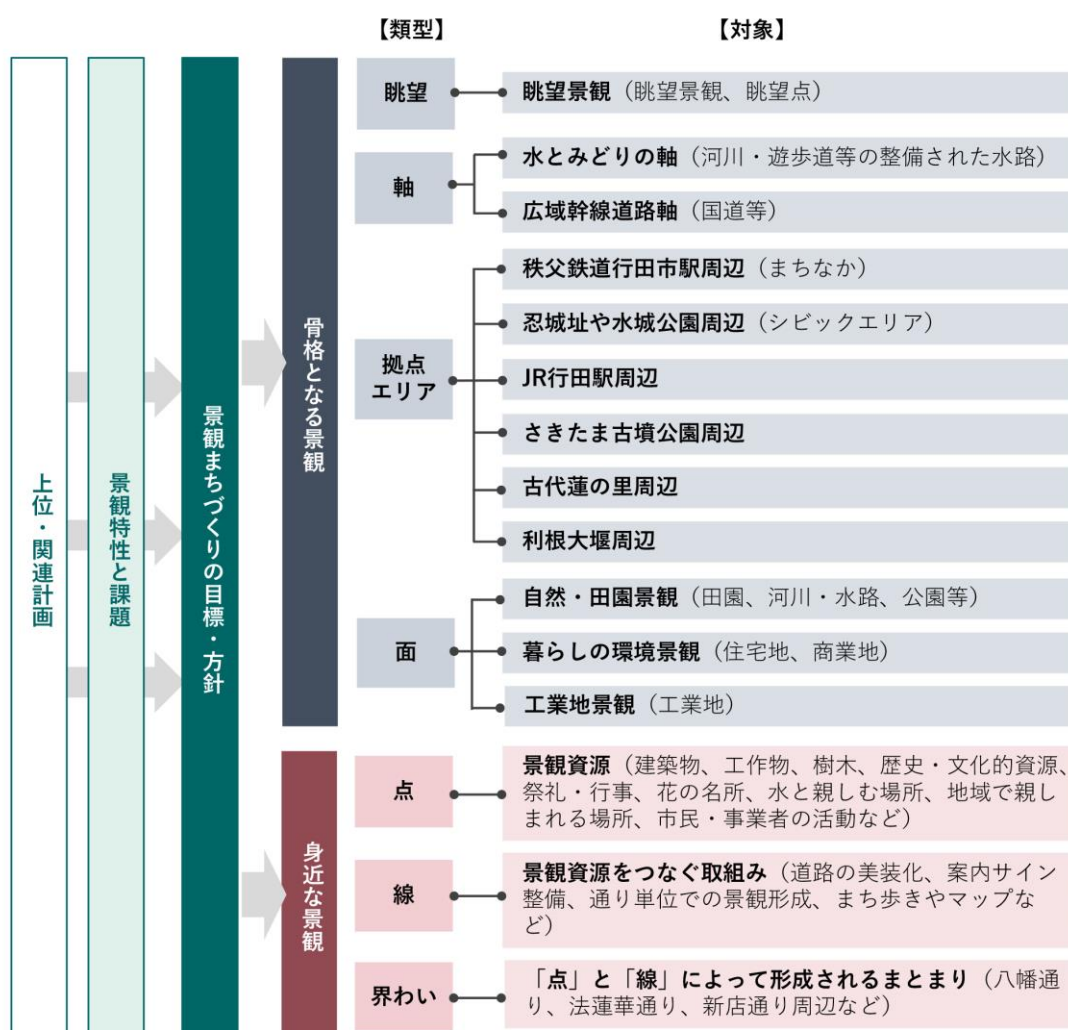
2 骨格となる景観づくりの方針

1. 景観づくりの対象

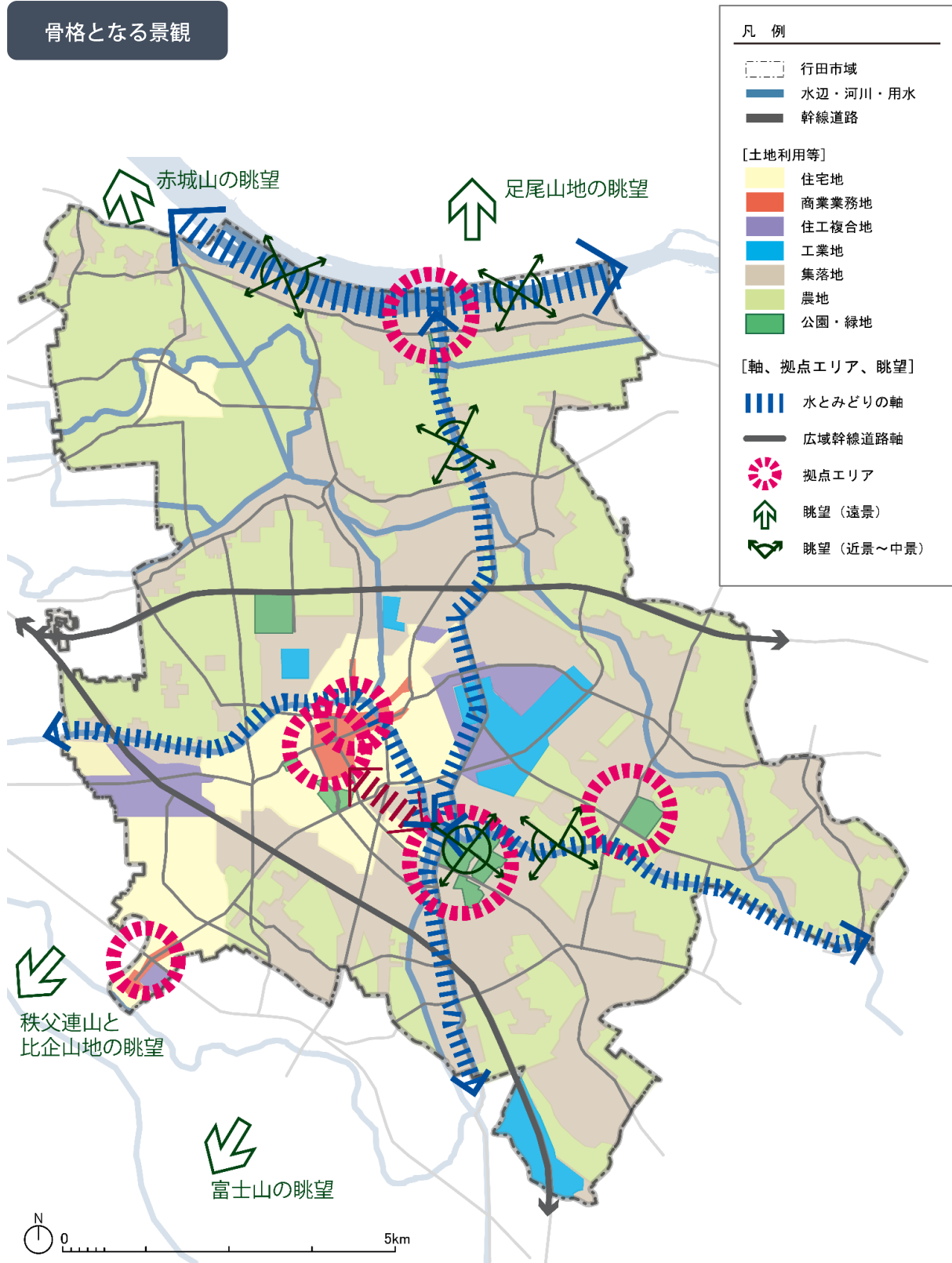
上位・関連計画、景観特性等をふまえ、下図のように景観づくりの対象を類型化し、景観形成を進めます。

骨格となる景観づくりは、景観法に基づく届出・協議による誘導を基本に、特に重要な軸や拠点エリアにおいては民間建築物・工作物、屋外広告物、公共施設が一体となった景観づくりを進めます。

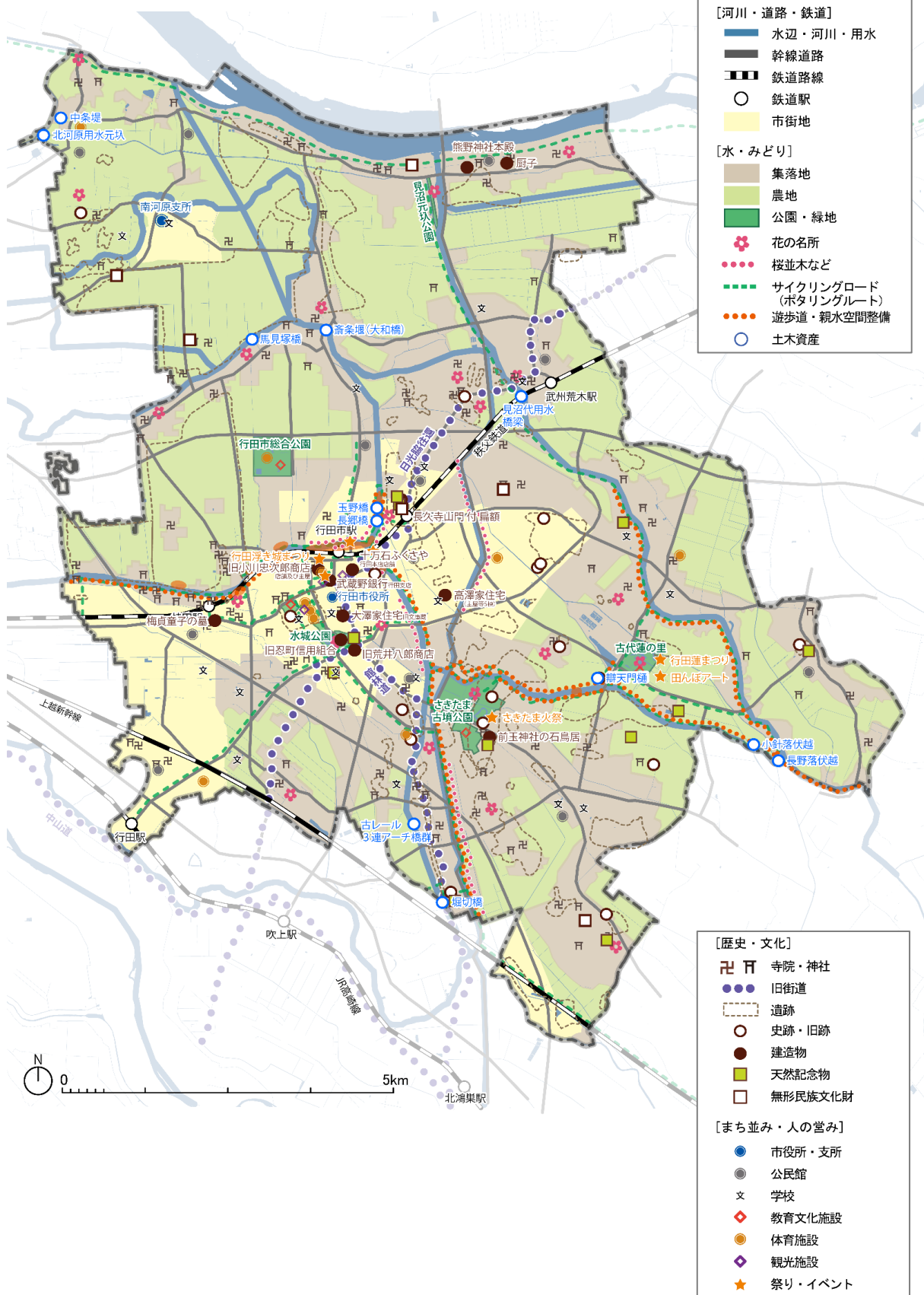
身近な景観づくりは、景観形成基本計画（平成 11 年策定）で掲げる景観形成の 3 つの視点（点→線→面）を継承し、身近な景観資源を界わいの個性に繋げる景観づくり施策を進めます。



骨格となる景観



身近な景観



2. 骨格となる景観づくりの方針

1) 眺望

(1) 眺望景観

◆特徴的な景観

○広々とした平坦な地形が特徴の本市は、北に赤城山、男体山、日光白根山～皇海山などの特徴ある山容の山々、西におだやかな稜線を持つ奥秩父連峰、東に筑波山、南に富士山など、東西南北に多様な山・山並みを望むことができます。

○これらは、市内の小中学校校歌にも多く歌われており、関東平野の中央部に位置する本市の広域的な位置づけを暮らしの中で認識させてくれる景観です。



のびやかな田園の背後に望む奥秩父連峰への眺望



のびやかな田園の背後に望む奥秩父連峰への眺望

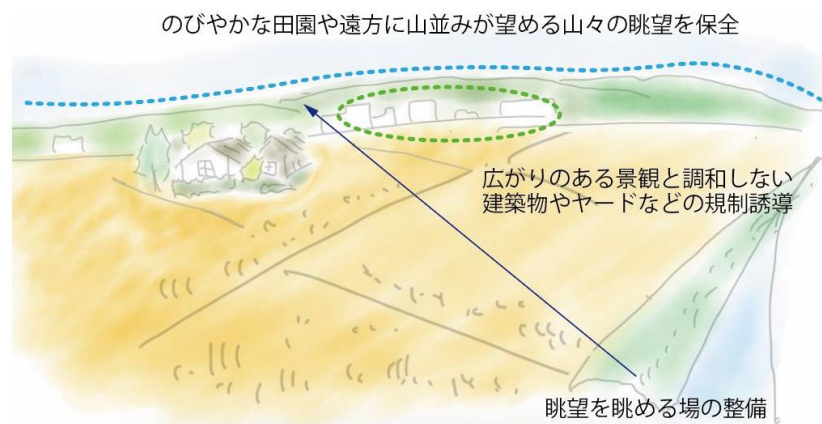


幹線道路のアイストップに望む富士山への眺望

◆景観づくりの方針

のびやかな田園風景と遠方に山並みが望める眺望景観の維持・形成

- 眺望景観の前景となる建造物等の高さや色彩の誘導による眺望景観の保全
- 山並みの連続性やアイストップに望むシンボル性に配慮した景観づくり
- 眺望しやすく、周辺環境に調和した視点場づくり



2) 軸

(1) 水とみどりの軸

◆特徴的な景観

- 利根川と荒川の2大河川をはじめ、大小の河川や用水が幾重にも流れ、沿川の田園や市街地では潤いのある景観が形成されているほか、親水護岸やポタリングの環境が整備され、イベントや憩いの場となっています。
- また、近世以降に築造された橋りょうや堰などの土木遺産が現在でも市内に点在しています。



自然環境に配慮した護岸整備がされ、原風景を感じる河川（星川）



親水整備され、桜並木が親しまれている水路（酒巻導水路）



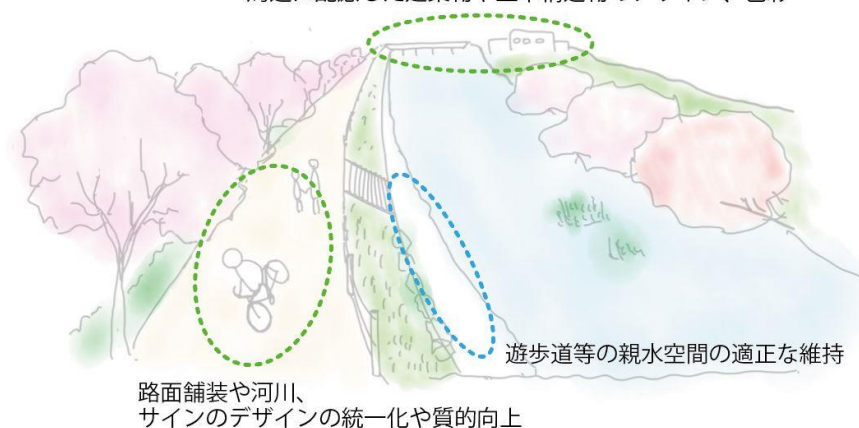
推奨土木遺産に認定されている忍川下流に架かる堀切橋

◆景観づくりの方針

豊かで親しみある水辺空間の維持・形成

- 市民等が親しみ、活動の場となる親水空間等の維持・形成
- 河川・水路と河岸の緑、遊歩道、ポタリングコースに一体性の感じられる景観の創出
- 土木遺産の保全・活用
- 土木構造物や建築物における水辺や周辺環境との調和

周辺に配慮した建築物や土木構造物のデザイン、色彩



(2) 広域幹線道路軸

◆特徴的な景観

- 主要な幹線道路として、東西方向に国道 17 号、国道 17 号熊谷バイパス、国道 125 号、県道 128 号、南北方向には、県道 66 号や県道 306 号などが整備されており、市内外を結ぶとともに、まちなかやさきたま古墳公園、古代蓮の里等の拠点エリアへのアクセスとしても重要な軸となっています。
- これら幹線道路沿道は、沿道型サービス施設が立地し、建築物や広告物が多種多様な沿道景観を構成するとともに、田園部では広がりのある景観を望むことができます。
- 沿道の店舗などでは、周囲の景観から突出した形態や色彩の建築物や屋外広告物が散見され、交差点付近や田園区間などにも、やや規模の大きな独立広告物が掲出されています。



沿道型サービス施設が立地する沿道景観（県道 66 号、県道 128 号）

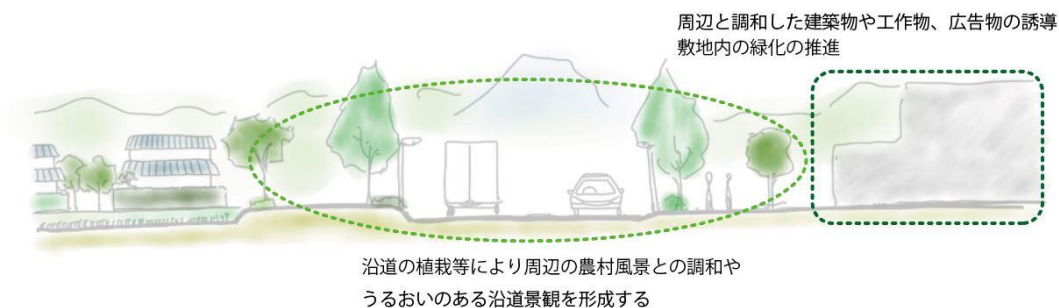


幹線道路から望む広々とした眺め

◆景観づくりの方針

周辺環境と調和した落ち着きとうるおいのある沿道景観の形成

- 敷地や接道部の緑化によるまち並みの連続性への配慮
- 周辺の土地利用や自然・田園景観とも調和した落ち着きとうるおいのある景観形成
- 拠点エリア周辺の交差点や沿道における、エリアと一体となった魅力づくり



3) 拠点エリア

(1) 秩父鉄道行田市駅周辺（まちなか）

◆特徴的な景観

〔秩父鉄道行田市駅〕

- 行田市駅周辺には、複数の商店街が形成されているほか、近代における足袋蔵などの歴史的資源が集積しており、本市の顔として重要な駅です。
- 行田浮き城まつりや愛宕神社の酉の市、とうろう流しなどの祭礼の場としても親しまれています。また、北口・南口には駅前広場が整備され、忍川沿いの桜並木や翔栄橋護岸の親水空間と連続する空間が形成されています。

〔まち並み〕

- 忍城の城下町、足袋のまちとして発展したまちなかを基盤に形成された商業地であり、歴史・文化の礎と明治以降に築かれた新旧の市街地や公共施設等の都市施設が混在するまち並みが形成されています。
- 旧街道（中山道から分岐した舘林道、日光道中脇往還）が巡り、足袋蔵や社寺、かぎ型の道、碑などの歴史的資源が集積しています。
- まち並み景観形成先導モデル地区として、沿道の建物等の修景や道路の美装化が進められている八幡通りや日用品や飲食店などの個人商店が連なる本町商店街、新町商店街などでは、各商店街固有の景観が形成されており、親しみが感じられる通りとなっています。
- 歴史的資源を巡る回遊路、案内サインなどが整備され、店先を彩る花手水や NPO による足袋蔵の保全・活用など行政と市民・事業者が協働してまちづくりに取り組んでいるエリアです。
- 総じて歴史・文化を感じさせる落ちついた景観が形成されていますが、一部に周辺と調和しない規模や色彩の建築物や広告物がみられます。



秩父鉄道行田市駅



モデル地区として修景整備された八幡通り商店街のまち並み



足袋蔵や足袋工場などの足袋産業関連施設をはじめとした歴史的資源が点在



想い想いのスタイルで店先を彩る花手水

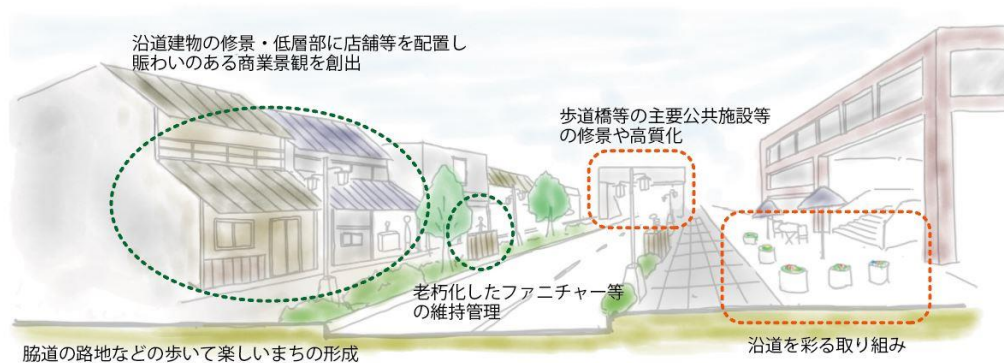


翔栄橋護岸の親水空間で行われるとうろう流し

◆方針

歴史的なまちなみと商店や住宅が調和した景観の形成

- 足袋蔵などの歴史的な資源等の保全・活用
- 歴史的資源の隣接地など周辺における、資源と一体性のある景観の創出
- 修景整備された街路、まち並みや資源の集積を活かした、歩いて楽しいまち並みの形成
- 歩行者ネットワークやまち並みの結節点となるまちかどにおけるサイン整備やゆとりある空間整備
- 城下町の町割りや水路の痕跡などを活かした空間整備
- 歩行者目線の空間整備による、にぎわいや楽しみが感じられる景観の形成



（２）忍城址や水城公園周辺（シビックエリア）

◆特徴的な景観

- 旧忍城の中心部であり、本丸のあった忍城御三階櫓や郷土博物館を中心に、行政庁舎や小中学校などの公共施設、水城公園など、建築規模が比較的大きく、オープンスペースの多い、固有のシビックエリアが形成されています。
- 観光案内所や市役所駐車場など、観光やまちなか回遊の拠点となっており、市役所～忍城を結ぶ「浮き城の径」は、埼玉県景観賞を受賞（1993）するなど、良好な景観が整備されています。
- かつて城堀であった水城公園をはじめ、歴史のシンボル地区として、忍城時代まつりやライトアップイベント、マルシェなど様々な祭礼・行事の場として市内外から人が訪れるほか、日常の憩いやハレの場として市民に親しまれています。



歴史・文化のシンボルとして親しまれている忍城御三階櫓



市役所から忍城に整備された浮き城の径と忍城



アートやライトアップで彩られ、市内外から親しまれる空間が形成されている



季節を彩る花や樹木、マルシェなどで親しまれている水城公園

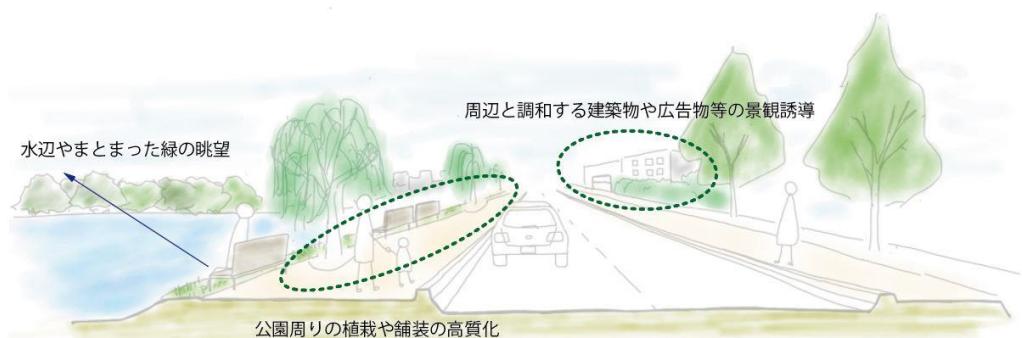


行田市役所をはじめとした公共公益施設が集積

◆方針

豊かな水・緑と歴史が調和した地域のシンボルとなる景観の形成

- ☐ 忍城址が眺望できるまちなみの維持
- ☐ 水城公園などの緑や水と調和したうるおいのあるまちなみの形成
- ☐ 歴史を伝える環境の継承や歴史的雰囲気を感じられる景観の形成



(3) JR 行田駅周辺

◆特徴的な景観

- JR 行田駅は、市内で最も乗降客数の多い駅であり、通勤・通学や観光の玄関口として重要な駅です。
- 行田駅前広場周辺再整備基本計画（H27.3）に基づき、駅前が整備され、広々としたロータリーや観光案内所や交番などに採用された和風のデザインが特徴となっています。
- 駅前通り（県道 138 号）では、沿道企業等による道路の美化活動がされています。



JR 行田駅

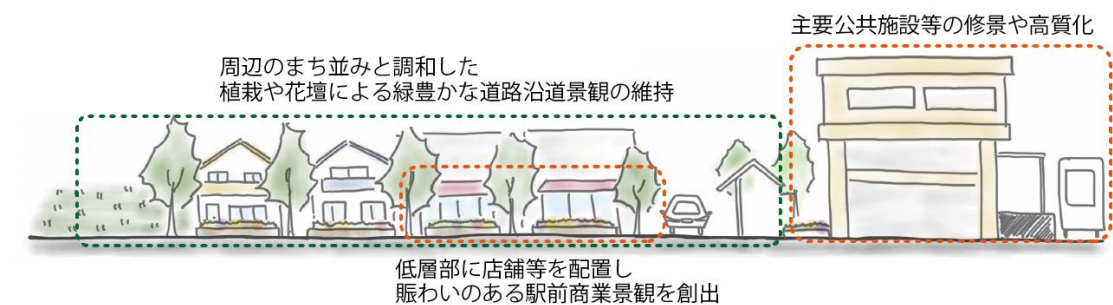


整備された駅前ロータリー

◆景観づくりの方針

方針：まちの玄関口にふさわしい賑わいや活力が感じられる景観の形成

- 地域の玄関口にふさわしい顔づくり
- にぎわいや親しみが感じられる商業地景観の形成



(3) さきたま古墳公園周辺

◆特徴的な景観

- 「特別史跡 埼玉古墳群」を含む公園であり、史跡周辺を含めたエリア一体で都市公園として整備され、多くの市民、観光客が訪れる本市を代表する交流拠点となっています。
- 古墳は、平坦な土地の中でアクセントとなっているほか、日常の散歩や頂上からの眺望、桜など季節の彩りとともに親しまれています。



全国でも珍しい登れる古墳として親しまれている丸墓山古墳



丸墓山古墳から忍城址を望む

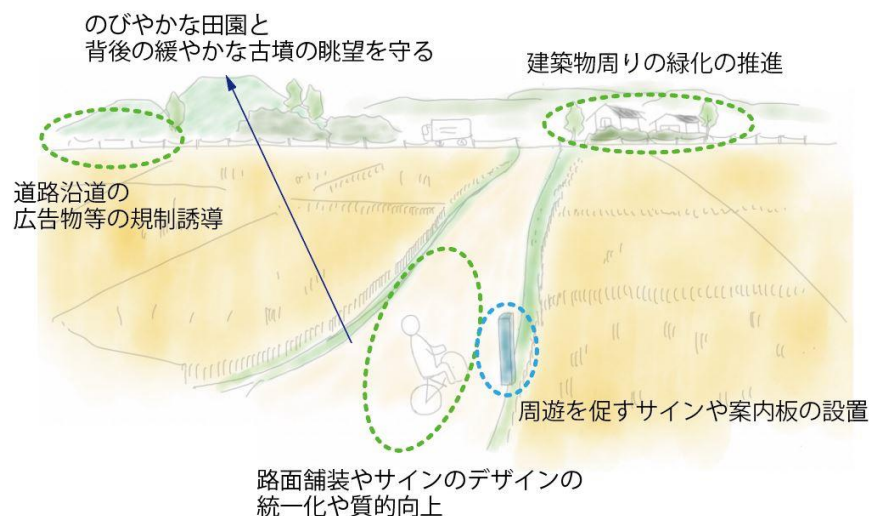


桜や菜の花などの季節の彩り

◆景観づくりの方針

古代の歴史と豊かな緑が調和した景観の形成

- 古墳や散策路の緑の保全
- 古墳などの古代の歴史的資源の活用や保全
- 丸墓山古墳などからの眺望に配慮した景観づくり
- 回遊路や案内サインなど回遊を促す環境づくり
- 公園の豊かな緑や歴史的資源と調和した周辺の景観づくり



(4) 古代蓮の里周辺

◆特徴的な景観

○古代蓮の里は、6月中旬から8月上旬にかけて咲き誇る蓮の花、2008年に始まった田んぼアートの会場としても多くの市民、来訪者が訪れるスポットであり、園内に建つ行田タワーは、全市的なランドマークになっています。



2008年に始まり、田植えから稲刈りまで市民に親しまれている田んぼアート



市の花に指定されている行田蓮（古代蓮）

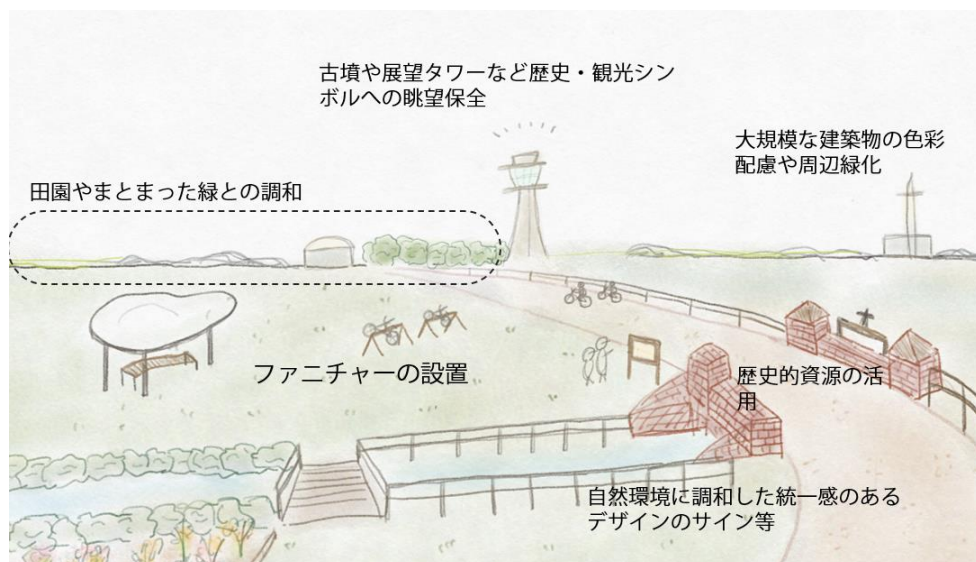


ランドマークになっている行田タワー

◆景観づくりの方針

古代の歴史と豊かな緑が調和した景観の形成

- 園内や散策路の緑と調和した景観の創出
- 豊かな緑や歴史的資源と調和した周辺の景観づくり
- 回遊路や案内サインなど回遊を促す環境づくり
- 古代蓮をはじめとした特徴ある緑の保全
- 行田タワーからの眺望に配慮した景観づくり



（５）利根大堰周辺

◆特徴的な景観

- 利根大堰は、武蔵水路・見沼代用水・埼玉用水路・葛西用水路の取水口であり、利根川中流域への農業、工業、生活への利水を支える重要な役割を担っており、スケールの大きな景観を望むことができます。
- 周辺の河川敷には、広大な自然の草原（ヨシ原・オギ原）が広がり、たまり池は、多くの野生の生きものの生息・生育空間となっていることから、関係団体・機関が協力し、治水と環境が共存する川づくりについての検討、車両侵入の抑制などの取組が実施されています。
- 市内、周辺市町村の小学校の社会科見学としても活用されており、本市の環境学習の拠点として重要な場所です。

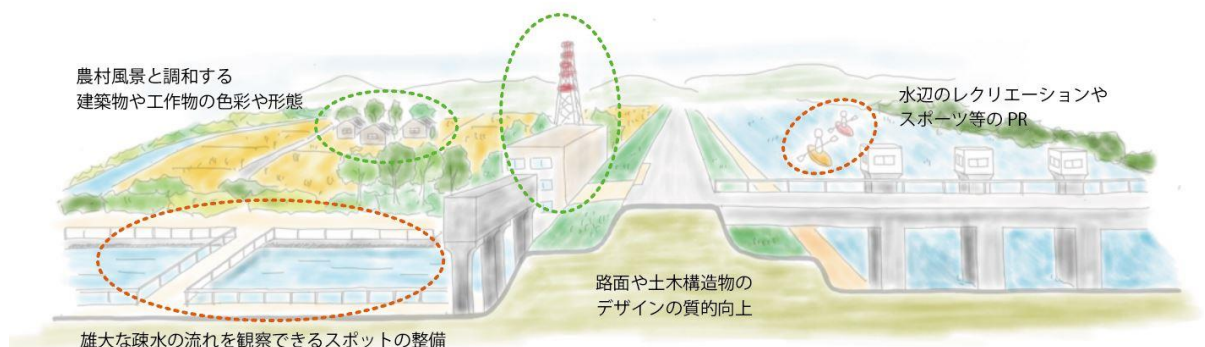


利根川中流域の農業、工業、生活への利水を支える利根大堰と利根導水路

◆景観づくりの方針

雄大な利根川の眺めや田園ののびのびとした景観の保全

- 河川、田園がおりなす農村景観に調和した風景の形成
- 市民等の憩いや活動の場となる親水空間の整備・活用
- 雄大な利根川や大スケールの利根大堰を望める場の整備



4) 面

(1) 自然・田園景観

◆特徴的な景観

- 市内の北部や南東部には、面的に水田が広がり、平坦な地形、幾重にも流れる河川や用水、遠方に望む山並みが一体となって、のびやかな田園景観が形成されています。
- これらの多くは、耕地整理や土地改良区によるほ場整備が行われたことにより、整然とした田園風景が広がっており、米、麦の二毛作をはじめ1年を通して彩りの豊かな景観をみることができます。
- また、集落の屋敷林や社寺林など、地域の昔ながらの農村風景を思わせる景観もみられ、田園風景のアクセントとなっています。



広々とした田園風景



田園や集落のアクセントとなっている社寺と社寺林（常世岐姫神社・荒木）

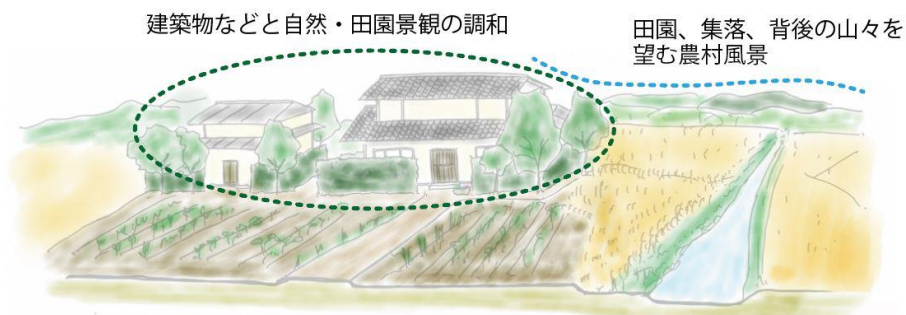


屋敷林のある集落地

◆景観づくりの方針

地域の発展を支えてきた水と農の景観の保全

- ☐ 建築物等と自然・田園景観との調和
- ☐ 親しみや潤いを感じる水辺空間の形成
- ☐ 生業と暮らしを通じて形成された農村集落の景観の維持



(2) 暮らしの環境景観

〔商業地〕

◆特徴的な景観

- 秩父鉄道行田市駅や東行田駅、JR 行田駅などの駅周辺に形成され、行田市駅周辺は、忍城の城下町・足袋のまちとして発展したエリアに面的に形成されており、その他は路線型の景観が形成されています。
- 行田市駅や東行田駅周辺では、足袋産業に由来する服飾業や酒造業、奈良漬けなど、地域の歴史を継承する業態も多く、趣あるまち並みが形成されています。
- まちなかでは、足袋蔵などの歴史的建造物を活用、リノベーションした店舗等も多くみられます。
- JR 行田駅の駅前通りは、中低層の商業業務施設が立地し、沿道型のまち並みが形成されています。



重厚な店構えの横田酒造（東行田駅周辺）



足袋商店が得意先への贈答品としても愛用した奈良漬



足袋蔵や初代市長の邸宅を活用した店舗、事務所が集まっている一角

◆景観づくりの方針

歴史や文化を礎とした、にぎわいとうるおいのある市街地景観の形成

- ☐ にぎわいのある街並みの形成
- ☐ 安全で快適な歩行者空間や滞留空間の創出
- ☐ 主要公共施設等の修景や高質化



〔住宅地〕

◆特徴的な景観

- 戸建て住宅や低層の集合住宅などで構成され、宅地開発等により面的に整備された持田地区や西新町地区では落ち着きと緑の潤いのある良好な住環境が形成されています。
- 住まいの近隣の公園や集会所などを花やみどりで彩る花いっぱい運動が実施されているなど、地域活動による良好な景観をみることができます。
- 平成18年に合併した旧南河原村の中心部には、低層の住宅や商店、小学校や支所などの公共施設などから成る市街地が形成されています。



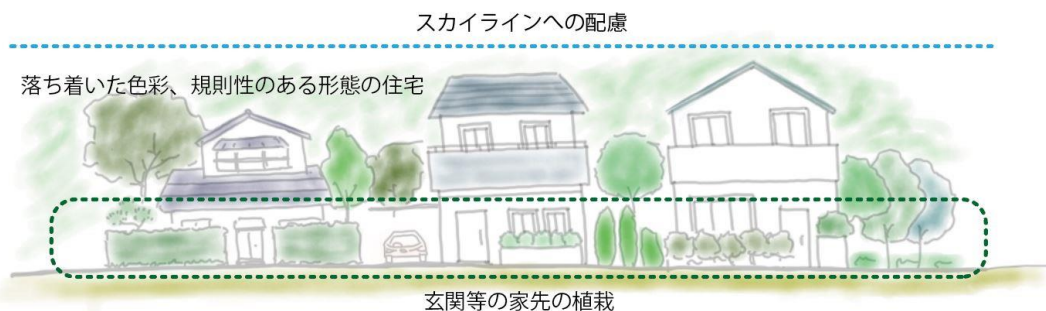
外構の植栽や住宅の形態意匠、敷地の使い方に落ち着きを感じられる住宅地
(左：持田地区、右：西新町地区)

コミュニティガーデンが設けられている住宅地内の公園（持田地区）

◆景観づくりの方針

緑の潤いやまとまりを持った、落ち着きのある住宅地景観の形成

- ☐ 落ち着いた色彩、規則性のある形態の住宅の維持・誘導
- ☐ 緑豊かな外構などの家先の景観づくり
- ☐ 近隣公園や集会所など身近なコミュニティ拠点の形成



(3) 工業地景観

◆特徴的な景観

- 富士見工業団地、長野工業団地、及び行田みなみ産業団地を中心として立地し、地区計画の定められた工業地では、街路樹と敷地内緑化が一体となり、緑豊かな工業地景観が形成されています。
- 富士見工業団地や持田インターチェンジ周辺の準工業地域では、やや規模の大きな店舗や工場、中低層の集合住宅、戸建て住宅が混在するまち並みとなっています。



敷地内緑化がされ、沿道の街路樹とともに緑の豊かな沿道景観となっている工業地（富士見工業団地）

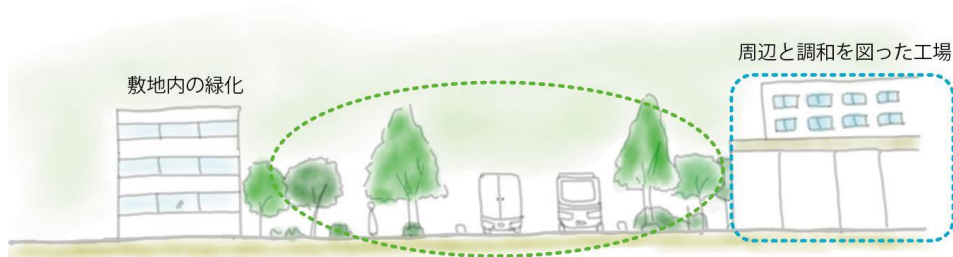


低木や高木を組み合わせた敷地の緑化や建物、広告物の意匠により柔らかい印象を与えている工業地（行田みなみ産業団地）

◆景観づくりの方針

街路樹等の周辺と敷地内の緑が一体となった緑豊かな工業地景観の形成

- 周辺と調和し、まとまりがある景観の形成
- 潤いとゆとりある工業地景観の形成



街路樹や建築敷地内の植栽が一体となった
うるおいとゆとりあるまち並みの形成